

北九州市（福岡県）

【自治体のあらまし】

北九州市は、福岡県の北部に位置しており、北側は日本海に、東側は瀬戸内海に面し、九州の玄関口となっている。昭和38年2月に門司、小倉、若松、八幡、戸畑の5市が合併して発足し、同年4月に政令指定都市へと移行した。

貿易の重要な拠点である門司港と、かつての官営八幡製鐵所を中心に形成された国内有数の重工業都市として発展を遂げてきた。また、工業都市として発展していく中で発生した公害を官民連携で克服してきた。その経験と技術を活かし、環境国際協力や循環型社会づくりを進めるとともに「世界の環境首都」を目指したまちづくりを行っている。

人口 959,131人（平成30年2月28日現在）

【文化芸術創造都市への代表的な取組】

四大工業地帯の一つとして、重工業及び貿易関連の諸産業の発展に伴い、国内外から人や情報が流れ込むことにより、多様な文化が育まれてきた。

平成20年に策定された北九州市基本構想では、「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」をまちづくりの目標として掲げている。地域資源を活かして、「映画の街」、「文学の街」をはじめ、音楽、演劇、美術、漫画など様々な取組を展開するとともに、官営八幡製鐵所関連施設をはじめとする多様な文化遺産の保存と活用を図りながらまちづくりを進めており、都市の持つ魅力を高めている。

●映画の街

平成元年に市広報室にイメージアップ班を設置し、シティプロモーションの一環として、全国に先駆けて映画ロケ誘致に取り組んだ。平成12年には、関係団体とともに「北九州フィルムコミッション」を設立し、平成30年3月までに、映画99本、テレビドラマ168本の作品誘致と支援を行っている。

また、平成21年に市に寄贈された3万点に及ぶ私設の映画資料館の収蔵資料をもとに開設された「松永文庫」では、常設展示の他、企画展や上映会などが実施され、「映画の街・北九州」の情報発信拠点として映画文化の振興に寄与している。

ロケ撮影の様子



GOGO! フィルムタウン



THE OUTSIDER (ハリウッド映画)



HIGH&LOW THE MOVIE2/END OF SKY

●文学の街

北九州市には森鷗外、火野葦平、林芙美子、松本清張など、ゆかりのある作家が多い。北九州市立文学館、松本清張記念館の2つの文学館を有し、文学資料の収集・保存、研究、その成果を活かした企画展や講演会を行っている。平成29年には、商店街の中に「北九州文学サロン」を設けて、文化情報の発信やイベントスペースとして活用するとともに、市民による文化活動の場となっている。

また、「林芙美子文学賞」、「子どもノンフィクション文学賞」、「中高生読書感想文コンクール」などを実施することにより、新たな文学の才能の発掘や、児童生徒が文学に触れ、言葉で表現する力を育む取組を進めている。



北九州市立文学館



松本清張記念館



北九州文学サロン

●文化遺産の保存と活用

北九州市は、官営八幡製鐵所関連施設（世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」）、戸畑祇園大山笠行事（ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」）という2つの世界的遺産を有している。また、平成29年には関門海峡沿岸の近代化を物語るストーリーが、「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定され、文化財を活用した地域の魅力発信に注力している。

日本遺産を構成する門司港駅（国指定重要文化財）の保存・修理事業にも取り組み、平成31年春頃には、大正時代の姿に復原された駅舎が公開される予定となっており、門司港地区の地域活性化への寄与が期待されている。

